

「北九州国際映画祭」
吉田大八監督×御木茂則氏×若者団体の皆様×
樋口卓治氏×リリー・フランキー氏による
映像制作に関する特別講演会の実施が決定！

令和5年12月13日～17日に開催する「北九州国際映画祭」の会期中、吉田大八監督、映画カメラマンの御木茂則氏、若者団体の皆様、放送作家の樋口卓治氏及び、アンバサダーのリリー・フランキー氏による映像制作に関する特別講演会の実施が決定いたしましたので、お知らせいたします。

1 企画概要

世界からも評価されている、日本を代表する映画監督である吉田大八監督、日本映画撮影監督協会の理事を務められ、映画カメラマンである御木茂則氏、若者団体の皆様、放送作家として数々の番組制作を担当されている樋口卓治氏及び、本映画祭のアンバサダーであるリリー・フランキー氏にご登壇いただき、映像制作にかける思いなどを語っていただく特別講演会です。

(1) 実施日時

令和5年12月17日（日） 18時00分～20時00分

(2) 実施会場

J:COM北九州芸術劇場・中劇場

(3) 参加費

無料

(4) 申込方法

令和5年11月27日（月）8時30分に開設する下記ホームページにリンクを掲載している、申込フォームから応募してください。
応募者多数の場合は抽選となります。

URL <https://www.city.kitakyushu.lg.jp/shimin/26501501.html>



(5) 申込期間

令和5年11月27日（月）～12月5日（火）

※ 映像制作を志す若者等必見の、貴重な機会です。

2 ご登壇ゲスト

(1) 吉田大八 (よしだ だいはち) 監督プロフィール

1963 年生まれ。大学卒業後、CM ディレクターとして活動。

「男の子はみんな飛行機が好き」「ミツワ」などの短編を経て 2007 年「腑抜けども、悲しみの愛を見せろ」で長編映画デビュー。第 60 回カンヌ国際映画祭の批評家週間部門に招待された。「桐島、部活やめるってよ」(2012) で第 36 回日本アカデミー賞最優秀作品賞、最優秀監督賞受賞。「紙の月」(2014) で第 38 回日本アカデミー賞優秀監督賞受賞。

その他の監督作として「クヒオ大佐」(2009)、「パーマネット野ばら」(2010)、「美しい星」(2017)。「羊の木」(2018) は第 22 回釜山国際映画祭においてキム・ジソク賞受賞。最新作は「騙し絵の牙」(2021)。

舞台では「ぬるい毒」(2013) 脚本・演出、「クヒオ大佐の妻」(2017) 作・演出。ドラマ監督作品に「離婚なふたり」(テレビ朝日 2019) がある。



(2) 御木茂則 (みき しげのり) 氏プロフィール

映画カメラマン/1969 年生まれ。日本映画学校(現・日本映画大学)卒業後、丸池納氏に師事。撮影助手として黒沢清監督の『勝手にしやがれ!! 強奪計画』(95)、『勝手にしやがれ!! 脱出計画』(95)『7 人のおたく』(山田大樹監督/92)、CM では上田義彦氏などの作品に携わる。石井岳龍監督の『パンク侍、切られて候』(18) に撮影補として携わる他、『孤独な惑星』(筒井武文監督/11)『滝を見に行く』(沖田修一監督/14)『彼女はひとり』(中川菜月/18)『Diamonds in the sand』(Janus Victoria 監督/24)などで照明技師としても活躍。『希望の国』(園子温監督/12)『火だるま槐多』(佐藤寿保監督/23)では撮影。『クモとサル』(長澤佳也監督/23)では芦澤明子氏と共同撮影。著書に「映画のタネとシカケ」がある。

日本映画撮影監督協会 理事/神戸芸術工科大学・京都芸術大学 非常勤講師 2023 年度文化庁在外研修員



©Arato Ogura

(3) 若者団体の皆様 (各団体の代表者)

ア K I T A 9 P R 部

「同世代にも北九州市の魅力をもっと知ってほしい」との思いで集まった、18 歳から 20 代を中心とした学生・社会人グループ。

イ K i t a k y u U 2 9

29 歳以下の若者が集まり、まちづくりに関心・意欲を持つ学生等や学生団体の連携と活動を促進して、学生団体等が北九州市の未来のために、あたらしいことに主体的かつ継続的に挑戦するグループ。

(4) 樋口卓治 (ひぐち たくじ) 氏プロフィール

1989年より古館プロジェクトに所属。放送作家として『さんまのSUPERからくりテレビ』『学校へ行こう!』『中居正広の金曜のスマイルたち』『笑っていいとも!』『ヨルタモリ』『日本人のおなまえっ!』など多数担当。『古館トーキングヒストリー～忠臣蔵、吉良邸討ち入り完全実況～』(テレビ朝日)で第43回放送文化基金優秀賞を受賞。2012年小説『ボクの妻と結婚してください。』で作家デビュー。舞台、ドラマ、映画化される。脚本『離婚なふたり』(テレビ朝日2019)、ドラマ『共演NG』(テレビ東京)第106回ザ・テレビジョンドラマアカデミー脚本賞を受賞。



(5) リリー・フランキー氏プロフィール

1963年11月4日、福岡県北九州市小倉生まれ。自身初の長編小説『東京タワー ～オカンとボクと、時々、オトン～』が、200万部を突破する大ベストセラーになり、2006年本屋大賞を受賞。

同作品は、映画をはじめ、ドラマ、舞台化された。

また、自作の絵本をアニメ化した『おでんくん』も高い人気を誇る。

近年は、俳優としての活躍もめざましく、映画『ぐるりのこと。』(2008年/橋口亮輔監督)でブルーリボン賞新人賞、『凶悪』(2013年/白石和彌監督)と『そして父になる』(2013年/是枝裕和監督)で第37回日本アカデミー賞優秀助演男優賞(『そして父になる』は最優秀助演男優賞)など多数受賞。第71回カンヌ国際映画祭では、主演を務めた『万引き家族』(2018年/是枝裕和監督)がパルム・ドールを受賞。

○平成21年度～子どもノンフィクション文学賞選考委員

○平成22年度～北九州市文化大使

○令和3年度(第54回)北九州市民文化賞受賞



(お問い合わせ先)

北九州国際映画祭実行委員会事務局

市民文化スポーツ局文化企画課

担当：村田、堀池 電話：093-582-2389